平成26年度授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	環境・地域創造演習(Project of Creating Sustainable Environments and Communities)	**授業コード**	C192701
担当教員名	吉村　充功、菅　雅幸、杉浦　嘉雄、池畑　義人	**科目ナンバリングコード**	L30107
配当学年	3	**開講期**	前期
必修・選択区分	建築コース(選択) インテリアデザインコース(選択) 環境・地域創生コース(選択必修)	**単位数**	2
履修上の注意または履修条件	夏期休業期に宿泊を伴う2泊3日の集中講義形式で実施予定です。地域でフィールドワークを実施しますので、参加できることを確認して履修して下さい。 また、「プロジェクト演習1」などの実践科目を修得済であることが望ましいです。		
受講心得	団体行動の際にはルールを守って下さい。教員・現地指導員の指示に必ず従ってください。 地域の皆さんは、この演習にあたって大変な負担を負っています。皆さんのために、いろいろしてくださる地域の皆さんに感謝しながら受講してください。		
教科書	(なし)		
参考文献及び指定図書	住民・行政・NPO協働で進める 最新 地域再生マニュアル(朝日新聞出版)山浦 晴男 著		
関連科目	プロジェクト演習1、プロジェクト実習、地域再生論		

授業の目的	ある地域のコミュニティーを再生したり、自然環境を保全することは、単にその地域の保全や活性化になるだけではなく、森里海を通じた広域圏での地域保全や、地域の伝統文化・歴史的建造物の継承、交流人口の拡大につながります。本演習では、フィールドワークを実践的に行うことで、その地域の実情や特徴を正しく把握し課題を整理すること、地域住民とのワークショップを通じてコミュニケーション力を向上させたり交渉力を獲得すること、採択される施策プレゼンテーションができるようになることなど、総合的な地域再生法の修得と人間力の向上を目的とします。
授業の概要	本演習では、大分県内の特定の地区(豊後大野市大野町北部地区を予定)を対象として合宿形式のフィールドワークを実施します。これまで各科目で修得してきた知識、調査・分析手法などを駆使して、地域が真に必要とする具体的な再生計画の提案を行います。具体的には、徹底した現地調査による課題の抽出と分析、住民ワークショップによる合意形成を経て、地区関係者へ地域の活性化につながる施策や計画の提案(プレゼンテーション)を行います。

○授業計画	
学修内容	**学修課題(予習・復習)**
第 1 週 : ガイダンス・事前研修 授業内容・スケジュールの説明、受講条件などについて説明します。また、研修に先立って、チームごとにテーマ設定を行うとともに、個人の目標設定も行います。事前レポートを課します。	対象地域について、あらかじめ人口や土地利用、歴史、建築物の特徴、環境などの各種データ・情報を入手し、予備知識を獲得して下さい。
第 2 週 : 合宿1日目① フィールド調査(情報収集力) 現地にてチームごとに、フィールド調査や住民ヒアリング、データ収集・計測等を行います。	
第 3 週 : 合宿1日目② フィールド調査(情報収集力) 現地にてチームごとに、フィールド調査や住民ヒアリング、データ収集・計測等を行います。	
第 4 週 : 合宿1日目③ フィールド調査(情報収集力) 現地にてチームごとに、フィールド調査や住民ヒアリング、データ収集・計測等を行います。	
第 5 週 : 合宿1日目④ データ分析(情報分析力) 収集した調査結果を持ち帰り、図面、GIS、CAD、エクセルなどデータを適切な方法により落とし込み、情報の可視化、分析を行います。	対象地域について、必要な追加データ・情報を入手し、知識の補完を行って下さい。

第 6 週 ： 合宿2日目① 課題整理（課題発見力） 地域課題の整理を行い、課題を発見します。	
第 7 週 ： 合宿2日目② 住民ワークショップ（課題発見力、表現力） これまでの収集情報結果を活用しながら地域住民とのワークショップを行い、地域の特徴や課題、ニーズを精緻化します。	
第 8 週 ： 合宿2日目③ 追加のフィールド調査（情報収集力） これまでの状況に応じて追加調査を実施するとともに、地域課題の整理を行います。	
第 9 週 ： 合宿2日目④ 再生計画の立案（構想力） 施策・計画の立案を行い、プレゼンテーションの準備を行います。	
第10週 ： 合宿2日目⑤ 再生計画の立案（構想力） 施策・計画の立案を行い、プレゼンテーションの準備を行います。	対象地域について、必要な追加データ・情報を入手し、知識の補完を行って下さい。
第11週 ： 合宿3日目① プレゼン準備（表現力） 引き続き、施策・計画のプレゼンテーションの準備を行うとともに、説得力を増すための追加調査も必要に応じて行います。	
第12週 ： 合宿3日目② プレゼン準備（表現力） 引き続き、施策・計画のプレゼンテーションの準備を行うとともに、説得力を増すための追加調査も必要に応じて行います。	
第13週 ： 合宿3日目③ 再生計画のプレゼンテーション（表現力） 地区住民へのプレゼンテーションを行います。	
第14週 ： 合宿3日目④ 地域住民とのワークショップ（実行力） プレゼンテーションを受けて、地域住民との意見交換を行います。	
第15週 ： 事後研修と総括 研修で得たことをグループディスカッションでまとめます。また、本授業で得たことの整理や反省を行い、本授業をまとめます。事後レポートを課します。	事後レポート
第16週 ： 期末試験	

授業の運営方法	（1）授業の形式	「演習等形式」
	（2）複数担当の場合の方式	「共同担当方式」
	（3）アクティブ・ラーニング	「アクティブ・ラーニング科目」
備考		

○単位を修得するために達成すべき到達目標	
【関心・意欲・態度】	① 総合的な地域再生法の修得及び人間力を向上させること
【知識・理解】	② フィールドワークにより地域の営みや生活を中心とした実情や特徴を正確に把握できること
【技能・表現・コミュニケーション】	③ 適切な手段を用いて地域の課題を整理したり、可視化できること ④ 地域住民とのワークショップや施策・計画のプレゼンテーションにより合意形成が図れること
【思考・判断・創造】	⑤ 採択される施策・計画の立案ができること

○成績評価基準（合計100点）			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	**期末試験・中間確認等（テスト）**	**レポート・作品等（提出物）**	**発表・その他（無形成果）**	
【関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。			**10点**	
【知識・理解】 ※「専門能力〈知識の獲得〉」を含む。		**20点**	**10点**	
【技能・表現・コミュニケーション】 ※「専門能力〈知識の活用〉」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。		**20点**	**30点**	
【思考・判断・創造】 ※「考え抜く力」を含む。		**10点**		

（「人間力」について）

※以上の観点に、「こころの力」（自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力）と「職業能力」（職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力）を加えた能力が「人間力」です。

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安	
成績評価方法	**評価の実施方法と達成水準の目安**
レポート・作品等（提出物）	フィールドワークに基づく分析レポート、施策提案レポート等を評価します。 ［Sレベル］単位を修得するために達成すべき到達目標を満たしている。 ［Aレベル］単位を修得するために達成すべき到達目標をほぼ満たしている。 ［Bレベル］単位を修得するために達成すべき到達目標をかなり満たしている。 ［Cレベル］単位を修得するために達成すべき到達目標を一部分満たしている。
発表・その他（無形成果）	施策・企画提案のプレゼンテーションを評価します。 フィールドワーク、ワークショップの取り組み状況、チーム活動の貢献度を評価します。